

# P.M.C かわら版

## 第5回PMC総会開催！



### その2

川崎市平和館は、「平和」を基本のテーマとし、第二次世界大戦中にアメリカ軍により行われた川崎大空襲の被害や当時の川崎市民の生活の展示から始まります。そこから展示は、世界に目を向け、戦争だけではなく、人権、飢餓、貧困、環境など幅広い視点で平和とは何かを考えさせられるものとなっています。

第5回PMC総会では、参加者と共に展示を見て、意見交換会を開催しました。

#### 【意見交換会にて】

- 自分は日本という平和な国に住んでいるが、知らないうちに他の国に対して加害者になっているかもしれない。まずは現実に気づくことが大切。同じ思いを持った人と行動していきたい。
- 展示がとても充実していた。川崎市の本気度を感じた。環境や差別にも踏み込んでいる。PMCでは戦争や基地に焦点をあててきたが、平和の幅広さを感じた。
- 川崎大空襲の時もルワンダの虐殺の時も偽情報が流されて被害が拡大した。ポール・ポトは自分の考えと違うものを排除した結果国が退廃した。様々な考えや情報を受け入れることが大切。
- 川崎大空襲があったことや武蔵小杉など南武線沿線に軍需工場が多かったことを初めて知った。
- 個人が権力には勝てない。個人は弱いと感じた。東労組が必要だということを改めて感じる。
- 平和は求めなければ実現しないということ、人間は加害者、被害者、傍観者、救済者に分けられるということが印象に残った。自らは傍観者ではないか、今一度問い直したい。

